



薬物乱用防止教室を行いました

1月8日（木）に3年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。

今回は碧南警察署少年係の足立さん、林さんに来ていただき、薬物の危険性について教えていただきました。学んだことを忘れず、卒業後も薬物と関わることなく過ごしていってほしいです。



以下に薬物乱用防止教室で学んだことを抜粋しておきます。振り返っておきましょう。

- ・薬物は一度使用しただけでも乱用となる。
- ・市販の薬も用法・容量を守らないと乱用となる。
- ・薬物には依存性があり、簡単にはやめることができない。
- ・自分の意志では自分の行動を制御できなくなってしまうこともある。
- ・誘われたときには、「私は～」という言葉を使って断るとよい。



〈薬物乱用防止教室感想より〉

・薬物について知っていたつもりだったけど、医療品の大量摂取であったり、知らないこともあるんだなと思いました。今日教えてもらった、「私は～」、「僕は～」の言葉を大切にしようと思いました。意外と身近な存在だと初めて知ったし、気をつけようと思いました。友だちや先輩に誘われても、家族など大切な人のために断る、それが一番大切なと思いました。（1組男子）

・オーバードーズや薬物については、テレビで見たことがあったので知っていたけれど、薬物の見本を実際に見てみて、すごく恐怖を感じました。乱用していた人たちは、大切な家族や友人、仕事などを失っていて、大きな後悔を抱えていることがわかりました。意外と身近なところに薬物が存在しているという事実が怖かったです。高校生、大学生になると、友だち付き合いが増えるとともに、危険なものに誘ってくる人も増えるかもしれないで、自分の身と大切な人たちを守れるように気をつけたいと思います。（2組女子）

・今回の薬物乱用防止教室を受けて、薬物が改めてどのような危険なものかを理解することができました。誤って使ってしまうと、精神が安定しなくなってしまい、最悪の場合命を落してしまうということがわかりました。友達や先輩から誘われたとしても、しっかり断ることが大切だと思いました。将来に向けて、自分の人生を楽しく生活するために、今回学んだことを大切にしていきたいです。（3組男子）

・「薬物乱用」という言葉は、何回も使うことを示していると思っていたけど、一度使っただけでも、それは薬物乱用になるということを知って、驚いた。薬物を使用するということは、自分の体を、自分の将来を壊すことなんだと改めて深く知った。一時の迷いで使用する、友だちに誘われたから仕方がないと使用するなど、あってはならないことだと思った。自分の意志を強くもって、生きていきたい。（4組女子）